

# R/Cプリウスタクシーの修理法（前進・後進しない）

2019.02.22/2022.02.04 改訂

トミー・マック

## 1. 外 観

おもちゃ名は「トヨタプリウスラジオコントロールタクシー」で（株）Linxの販売品です。



## 2. 特 徴

前後左右に走れる、フルファンクションのラジオコントロールカー！  
走行時に、進行方向のライト点灯が点灯します。

## 3. 故 障

モータの回転音はしますが、ギアがカタカタと音をたて、前進も後進もしません。  
落下させてから調子が悪くなりました。

## 4. 原 因

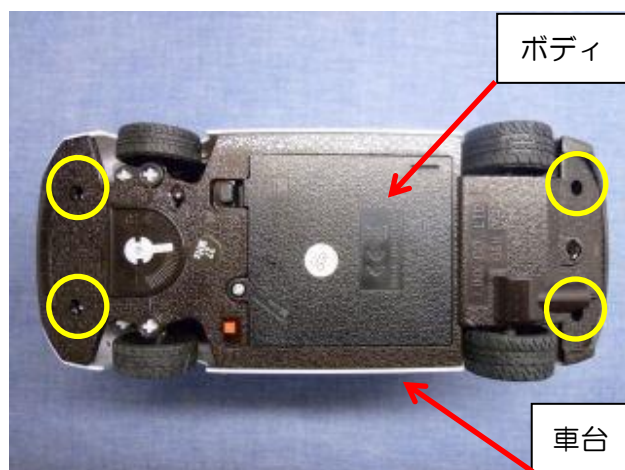
分解と修理過程で分かったことは、

- ・落下時に、後輪のギアボックスの側面樹脂が割れて欠け、内部のギアとシャフトが外れていました。  
そのため、ギアが空回りしていました。

## 5. 修 理

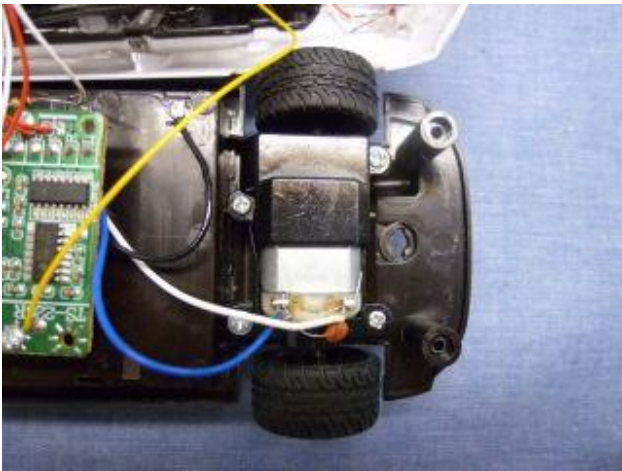
### （1）車台の外し

おもちゃを逆さにし、車台のネジ（タッピング2. 6×7）4本を外します。ボディを外すと、



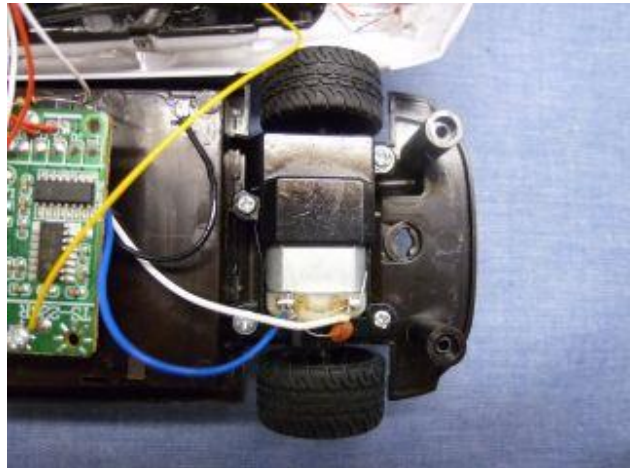
## R/Cプリウスタクシーの修理法（前進・後進しない）

後部にギアボックスがあります。



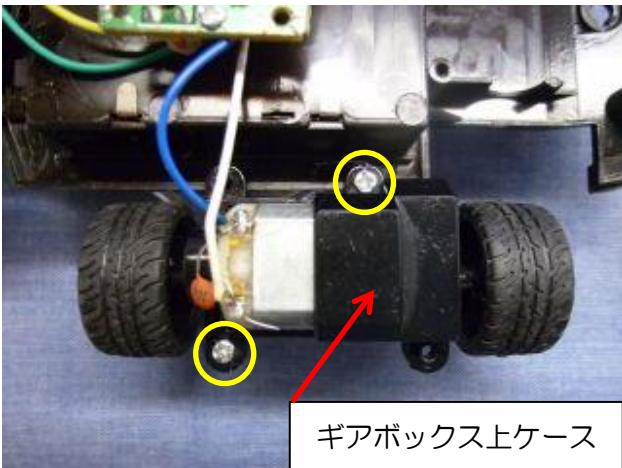
### (2) ギアボックスの外し

ギアボックスのネジ（座付きタッピング2.3×10）2本を外します。

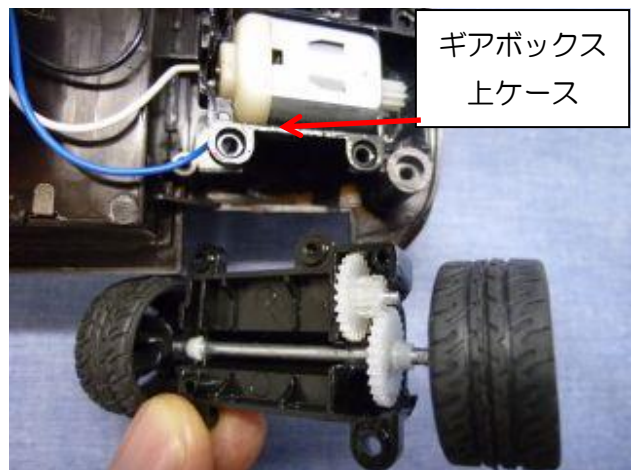


### (3) ギアボックス上ケースの外し

ギアボックスを車台から外し、



ネジ（タッピング2.3×6）2本を外し、  
モータ付きギアボックス上ケースを外します。



拡大すると、





## R/Cプリウスタクシーの修理法（前進・後進しない）

車輪シャフトとギアシャフトを固定する  
ギアボックス下ケースの側面が脱落してい  
ます。



（結果）

モータ用のギアや車輪シャフトの  
ギアが固定されず、車輪が回りません。

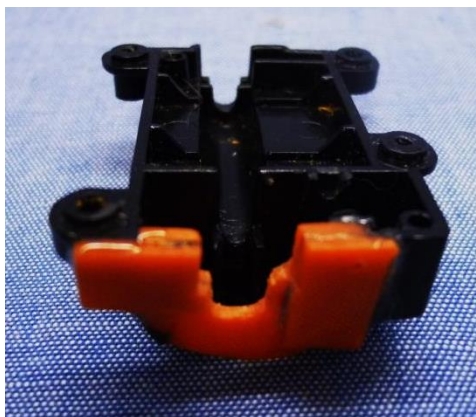
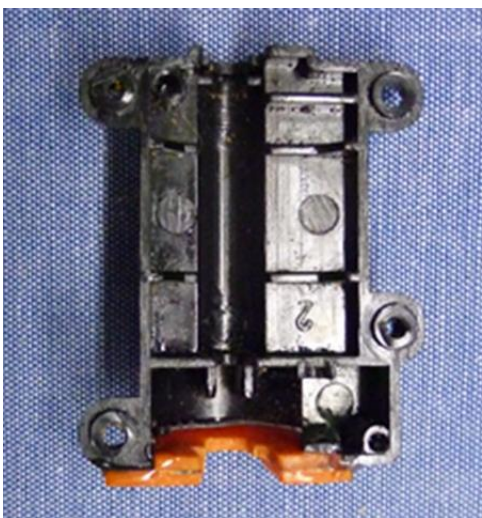


ギアボックス下ケースの側面の補修が必要です。

### （4）ギアボックス下ケースの側面の作成

不要なおもちゃから切り出した、厚み約1.5mmの樹脂板から、ギアボックス下ケースの側面形状を想定して作ります。

寸法はノギスなどで測定し、現物合わせで加工します。何度も寸法や位置合わせ繰り返し、試行錯誤で作ります。



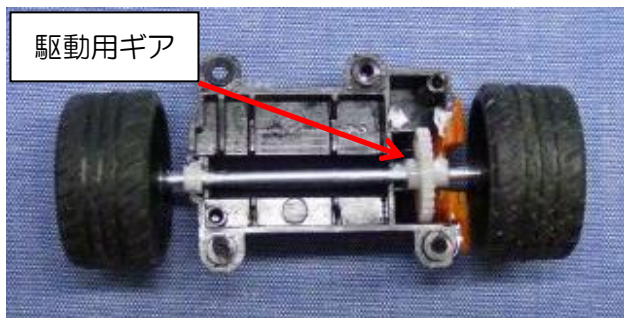
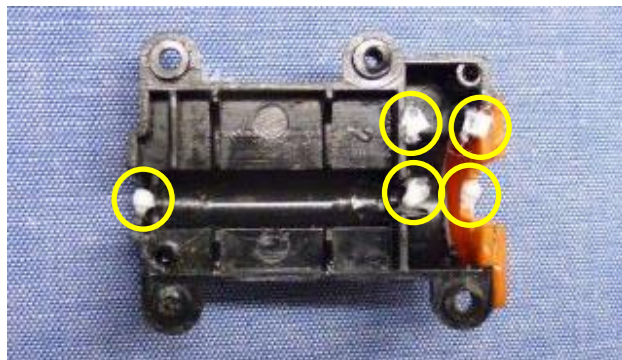
これで**補修完了**。

## R/Cプリウスタクシーの修理法（前進・後進しない）

### （5）元に戻す

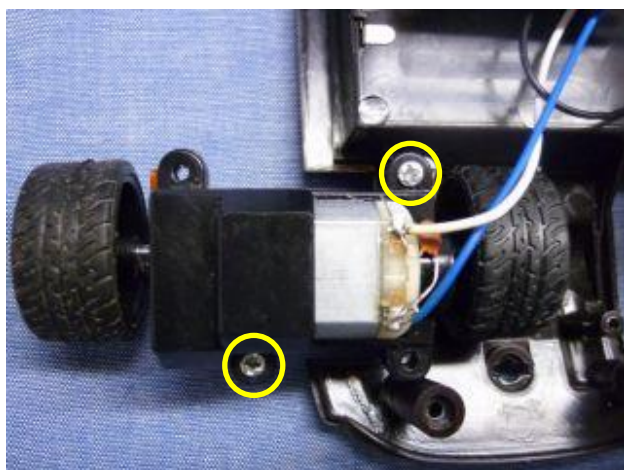
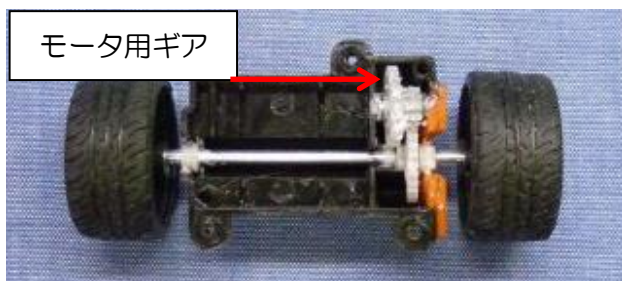
#### （a）車輪シャフトとモータ用ギアの組立て

ギアボックス下ケースのモータ用ギアのシャフトや車輪シャフトが接する箇所に、プラスチック用グリスを塗布します。



まず、車輪と樹脂軸受けそして駆動用ギアの付いたシャフトを設置します。

次にモータ用ギアのシャフトを設置します。



#### （b）ギアボックス上ケースの組立て

モータの付いたギアボックス上ケースを重ね、ネジ（タッピング2.3×6）2本で留めます。

因みにギアボックスを補修した側部の状態は、

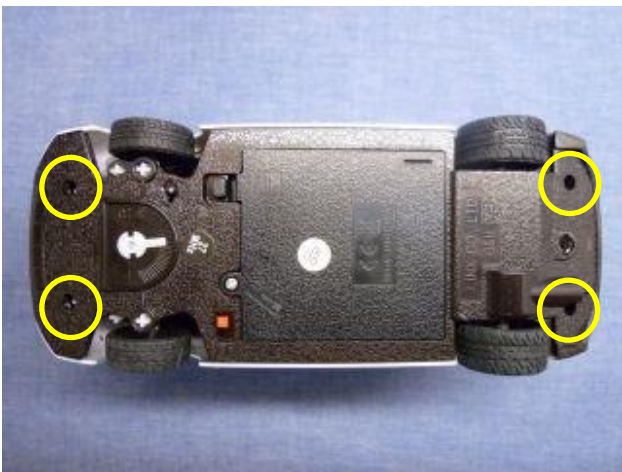
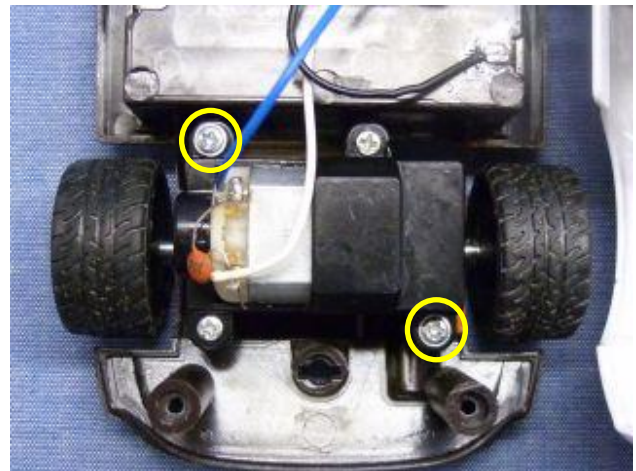




## R/Cプリウスタクシーの修理法（前進・後進しない）

### (c) ギアボックスを車台に組立て

車台にギアボックスを、ネジ（座付きタッピング 2.3×10）2本で留めます。



### (d) 車台をボディに組立て

ボディに車台を重ね、ネジ（タッピング2.6×7）4本で留めます。

完了

終わり